

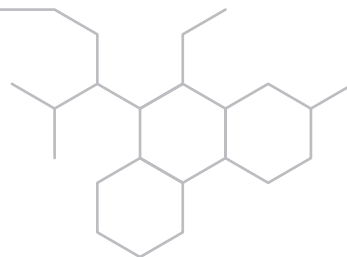


---

会社法第437条および第444条に基づく提供書面

# 第16期 報告書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで



エムスリー株式会社

# 第16期 報告書目次

株主の皆様へ .....	1
会社法第437条および第444条に基づく提供書面	
当社グループの現況に関する事項 .....	2
株式に関する事項 .....	13
会社役員に関する事項 .....	14
会計監査人の状況 .....	16
連結財政状態計算書 .....	17
連結損益計算書 .....	18
連結持分変動計算書 .....	19
貸借対照表 .....	20
損益計算書 .....	21
株主資本等変動計算書 .....	22
連結計算書類に係る会計監査報告 .....	23
計算書類に係る会計監査報告 .....	24
監査役会の監査報告 .....	25

## (ご参考) 株主メモ

事業報告の「新株予約権等に関する事項」、「業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況」、連結計算書類の「連結注記表」及び計算書類の「個別注記表」につきましては、法令及び定款第15条の定めに基づき、インターネット上の当社ウェブサイト(アドレス <http://corporate.m3.com/>)に掲載することにより、株主の皆様にご提供しています。

## 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

平成28年3月期においても、「インターネットを活用して、健康で楽しく長生きできる人を一人でも増やし、不必要な医療コストを一元でも減らす」という当社のミッションの達成に向け、様々な取り組みを行ってきました。その主要な取り組みを幾つか紹介致します。

### ■製薬企業の医師への情報提供の効率化

- ・製薬企業から医師への情報伝達の効率化：製薬企業からm3会員医師に治療の最前線情報を提供する「MR君」では約8,000万回のメッセージを配信。「MR君」および関連サービスによる情報提供は実際のMRによる活動も含め、製薬企業から医師への情報提供の35%を占める。
- ・Web講演会を通じた専門家の知見共有：ウェブサイト上で会員医師向けに講演会を行うリアルタイムのWeb講演会を約500回開催。一回あたりの視聴者数は前年の1.5倍となる1,500人以上、のべ76万人の会員医師が参加し、各分野の専門家から最新の知見を広く共有。

### ■医薬品開発の促進

- ・治験・臨床研究の効率化：治験に参加する施設、対象患者を発見する治験支援サービス「治験君」が拡大。627人の医師、3,368人の患者が「治験君」を通じて治験や臨床研究に参加。新薬開発や新しいエビデンス構築を効率化。
- ・有望技術の事業化を推進：エムスリーグループの総合力を有望スタートアップまたは有望技術に投入して事業化を推進するシーズロケット事業を開始し、第1号案件として次世代型人工心臓を開発するメドテックハート株式会社への投資を実行。

### ■医療従事者のキャリア形成やスキル向上の支援

- ・医療従事者のキャリア形成支援：エムスリーキャリア株式会社のサービスを通じて、約7,000人の医師、薬剤師の転職やより良いキャリア形成を支援。
- ・医師間の情報やノウハウの共有：m3会員医師同士がm3.com上で臨床、診療上の意見交換を行うm3.comカンファレンスには、16,000件の質問、意見、見解が寄せられ、約1,400万回閲覧。医師間の診療情報の共有に貢献。
- ・ゲノム・パーソナル医療の進展をサポート：新会社G-TAC株式会社を通じ、約8万人の医師がゲノム関連知識を獲得。

### ■一般の方の健康的な生活のサポート

- ・一般の方の医療に関する質問や疑問への回答：一般の方々からの健康や疾病に関する質問に「m3.com」登録医師が回答する「AskDoctors」(<http://www.AskDoctors.jp/>)の会員数が拡大。一般の方々からの質問に対する登録医師の回答率はほぼ100%。過去のQ&Aのアーカイブは1,500万件超。
- ・健康によい商品を認定：健康によい商品に対して医師が客観的に評価する「AskDoctors評価サービス」が拡大。認定済商品は累計で20以上に拡大。
- ・患者の方の診療待ち時間の短縮：クリニック向け診療予約サービスの「アイチケット」を利用し、のべ717万人の患者がオンラインでクリニックを予約。待合室での待ち時間を大きく短縮。

### ■海外へビジネスの展開

米国、英国、中国及び韓国等を中心に、当社グループのサービスを展開。当社グループが世界中で運営する医療従事者向けウェブサイト及び医師パネルに登録する医師は合計350万人を超過。

- ・米国で医師転職支援サービスが拡大：Profiles、The Medicus Firmを買収。2年間で4社を買収し、米国での医師転職支援サービスを急速に拡大。
- ・英国版MR君が拡大：英国医師の80%以上が登録する医療従事者向けウェブサイト「Doctors.net.uk」を活用した英国版MR君は約10の薬剤で契約を締結済み。
- ・中国版MR君が拡大：中国で運営する医療従事者向けウェブサイトに登録する医師会員数はすでに150万人を超過。中国版MR君は10社20薬剤で契約を締結済み。

これらの取り組みの結果、平成28年3月期における当社グループの売上収益は64,660百万円(前期比25.9%増)、営業利益は20,022百万円(前期比24.7%増)、税引前当期利益は19,950百万円(前期比23.3%増)、当期利益は13,493百万円(前期比29.4%増)となりました。

今後も、「インターネットを活用して、健康で楽しく長生きできる人を一人でも増やし、不必要な医療コストを一元でも減らす」という当社のミッションの達成に向け、様々な取り組みを順次展開していく所存です。

引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成28年6月 代表取締役社長 谷村 格

## 【 事業報告（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）】

### 1. 当社グループの現況に関する事項

#### (1) 事業の経過及び成果

医師会員約25万人が利用する医療従事者専門サイト「m3.com」を中心に様々なサービスの展開をしています。

製薬会社向けのマーケティング支援サービス（「MR君」ファミリー）は、基本的な「提携企業」サービスに加え、「m3.com」のプラットフォーム上で会員医師が主体的、継続的に高頻度で情報を受け取れる「MR君」サービス、会員医師に対してピンポイントでアプローチする「ワンポイントeディテール」サービス、「m3.com」上で開催される講演会を会員医師が視聴する「Web講演会」サービスと、意図や用途により選べるサービスメニューを提供しています。平成28年1月には病院検索、薬検索、医療情報サイトなどを運営する株式会社QLifeを子会社化し、DTC（Direct To Consumer）市場に進出しました。

治験支援関連サービスは、治験に参加する施設・対象患者を発見する治験支援サービス「治験君」を核に、大規模臨床研究支援サービスを提供するメビックス株式会社、治験業務の支援を行う株式会社MICメディカル及び株式会社メディサイエンスプランニング、治験実施医療機関において治験業務全般の管理・運営を支援するSMOである株式会社イスマ（e-SMO）及びノイエス株式会社（以下、「ノイエス」）、海外のバイオ医薬品企業を中心に、グローバル医薬品開発における日本及びアジアでの開発を支援する株式会社Integrated Development Associates（以下、「IDA」）、バイオテクノロジーを応用した先端医療技術を中心に、早期実用化に向けた研究開発活動全般を支援するPOCクリニカルリサーチ株式会社（以下、「POCクリニカルリサーチ」）を通じて提供しています。

会員医療従事者を対象とした調査サービス、会員へ医療情報以外のライフサポート情報を提供する「QOL君」等の一般企業向けマーケティング支援サービス、一般の方々からの健康や疾病に関する質問に「m3.com」登録医師が回答する「AskDoctors」（<http://www.AskDoctors.jp/>）、診療所の経営をサポートする「m3.com 開業・経営」等のプラットフォームを活用した派生サービスの拡充も進めています。

医師、薬剤師向けの求人求職支援サービスを提供するエムスリーキャリア株式会社（以下、「エムスリーキャリア」）、クリニックの診療予約サービスを提供するアイチケット株式会社、医療用医薬品専門の広告代理店であるリノ・メディカル株式会社、電子カルテ等の開発・販売及びサポートを手掛ける株式会社シィ・エム・エス（以下、「シィ・エム・エス」）、次世代MR「メディカル marketer」の育成、提供を行うエムスリーマーケティング株式会社（以下、「エムスリーマーケティング」）においてもサービス展開を進めています。

海外においては、米国で、医療従事者向けウェブサイト「MDLinx」を運営し、この会員基盤を活かした製薬会社向けサービスの展開が順調に進んでいる他、M&Aの活用等により医師向けの転職支援サービスも拡大しています。業務提携の効果もあり、米国において60万人以上の医師にリーチできる体制となっています。また、英国では約20万人の医師会員を擁する医師向けウェブサイト「Doctors.net.uk」において、製薬会社向けサービスの展開を進めており、英国版MR君も開始しています。さらに、中国において医療従事者向けウェブサイトに登録する医師会員数は150万人を超え、中国版MR君は順調に拡大しつつあります。

日本、米国、欧州、中国、韓国をはじめ、当社グループが世界中で運営する医療従事者向けウェブサイト及び医師パネルに登録する医師は合計で300万人を超えており、医師パネルを活用したグローバルな調査サービスの提供も行っています。

当連結会計年度の業績は、以下のとおりです。

(当期の業績)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	比較増減	
売上収益	51,346	64,660	+13,315	+25.9%
営業利益	16,061	20,022	+3,961	+24.7%
税引前当期利益	16,174	19,950	+3,776	+23.3%
当期利益	10,428	13,493	+3,065	+29.4%

(セグメントの業績)

(単位：百万円)

		前連結会計年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	比較増減	
医療ポータル	セグメント売上収益	22,436	25,234	+2,799	+12.5%
	セグメント利益	12,890	14,844	+1,953	+15.2%
エビデンスソリューション	セグメント売上収益	13,195	19,992	+6,797	+51.5%
	セグメント利益	1,799	3,908	+2,109	+117.2%
海外	セグメント売上収益	10,980	13,810	+2,830	+25.8%
	セグメント利益	1,430	1,614	+184	+12.9%
診療プラットフォーム	セグメント売上収益	2,818	2,902	+84	+3.0%
	セグメント利益	290	239	△51	△17.6%
営業プラットフォーム	セグメント売上収益	1,255	1,283	+29	+2.3%
	セグメント利益	△192	△5	+186	—
その他	セグメント売上収益	1,484	2,574	+1,090	+73.5%
	セグメント利益	49	532	+482	+974.3%
調整額	セグメント売上収益	(822)	(1,134)	—	—
	セグメント利益	(206)	(1,113)	—	—
企業結合に伴う再測定による利益		—	3	+3	—
合計	売上収益	51,346	64,660	+13,315	+25.9%
	営業利益	16,061	20,022	+3,961	+24.7%

### ①医療ポータル

医療関連会社マーケティング支援分野の売上収益は、12,784百万円（前期比4.2%増）となりました。「MR君」サービスをはじめとする「MR君」ファミリーは、一部顧客が特殊要因により利用を一時的に抑制されたことや、「MR君」の新たなビジネススキームとなる成功報酬モデルの導入に向けた準備にリソースを充当したことで第1四半期から第3四半期の9ヶ月間は前年並みで推移しましたが、第4四半期の3ヶ月では既存案件での利用拡大や新規案件の獲得が進み、売上収益は前期比で22%増となる等、成長ペースが回復してきました。

調査分野の売上収益は2,567百万円（前期比22.5%増）となりました。営業体制の整備が進み、製薬会社等への直販が拡大しました。

その他分野の売上収益は、9,884百万円（前期比22.4%増）となりました。エムスリーキャリアの医師向け人材紹介事業を中心に拡大しました。

これらの結果、医療ポータルセグメントの売上収益は、25,234百万円（前期比12.5%増）となりました。

売上原価と販売費及び一般管理費の総額は、エムスリーグループ業容拡大に伴う人件費増加等の要因を中心に、10,756百万円（前期比11.4%増）となりました。

以上の結果、医療ポータルのセグメント利益は14,844百万円（前期比15.2%増）となりました。

### ②エビデンスソリューション

治験プロジェクトが順調に進展したことに加え、平成27年3月にIDA、平成27年4月にノイエス及び平成27年7月にPOCクリニカルリサーチが新たに子会社となり連結業績に加わったことにより、売上収益は19,992百万円（前期比51.5%増）となりました。治験プロジェクトの順調な進展は、拡大するプロジェクト（セグメント合計では230億円程度のビジネス規模に達する）に対応して、先行的に行った積極的な人材採用による人件費の増加や構造改革中のノイエスの赤字等を吸収し、セグメント利益は3,908百万円（前期比117.2%増）となりました。

### ③海外

米英においては、調査サービスと医師の転職支援サービスの拡大等により、売上収益は12,438百万円（前期比23.4%増）となりました。米国において当社eメールサーバーがスパム送信に使われていると誤って認識されてしまう事象が発生していたことにより、広告サービスが減収となりましたが、本事業については既に解消しています。中国においては、中国版MR君の利用が10社20薬剤まで拡大する等、好調に推移し増収となりました。費用面では、米国においてProfiles, Inc.の事業譲受及びThe Medicus Firm, LLCの子会社化に関する一時的な費用として合計156百万円が発生しています。これらにより、海外セグメントの売上収益は13,810百万円（前期比25.8%増）、セグメント利益は1,614百万円（前期比12.9%増）となりました。

### ④診療プラットフォーム

シィ・エム・エスの事業の売上収益はほぼ前年並みの2,902百万円（前期比3.0%増）となりました。将来の成長を見据えた人員の増強を進めた結果、セグメント利益は239百万円（前期比17.6%減）となりました。

### ⑤営業プラットフォーム

エムスリーマーケティングの事業が順調に拡大しました。メディカルマーケターの稼働率の上昇による売上収益の増加が、先行的に行った積極的な人材採用による人件費の増加を吸収し、売上収益は1,283百万円（前期比2.3%増）、セグメント利益は△5百万円（前期比186百万円改善）となりました。

## ⑥その他

全体として事業は順調に推移し、売上収益は2,574百万円（前期比73.5%増）、セグメント利益は532百万円（前期比974.3%増）となりました。

以上の結果、当連結会計年度の当社グループの売上収益は64,660百万円（前期比25.9%増）、営業利益は20,022百万円（前期比24.7%増）、税引前当期利益は19,950百万円（前期比23.3%増）、当期利益は13,493百万円（前期比29.4%増）となりました。

### (2) 資金調達の状況

当連結会計年度においては、特に記載すべき事項はありません。

### (3) 設備投資の状況

当連結会計年度において実施しました当社グループの設備投資の総額は747百万円で、その主なものはオフィスの拡張に伴う新規取得及び事業拡大と安定化のためのサーバ及びソフトウェア投資等です。

### (4) 重要な組織再編等

ノイエス株式会社は、当連結会計年度において株式を取得したことから連結子会社になりました。

The Medicus Firm, Inc. は、当連結会計年度において新たに設立し、The Medicus Firm, LLCの株式の取得後、当該会社を吸収合併しています。

Profiles, Inc. は、当連結会計年度において新たに設立し、Profiles, LLCの事業を譲り受けています。

(5) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

① 当社グループの財産及び損益の状況

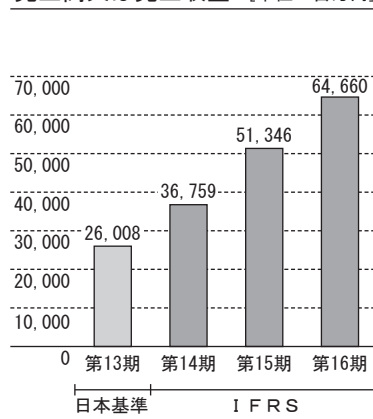
	日本基準	国際会計基準 (IFRS)		
	第13期 平成25年3月期	第14期 平成26年3月期	第15期 平成27年3月期	第16期 (当連結会計年度) 平成28年3月期
売上高又は売上収益 (百万円)	26,008	36,759	51,346	64,660
営業利益 (百万円)	9,294	13,738	16,061	20,022
当期純利益又は当期利益 (百万円)	5,599	8,878	10,428	13,493
1株当たり当期純利益又は 基本的1株当たり当期利益 (円)	17.63	26.41	30.18	38.66
総資産又は資産合計 (百万円)	30,853	49,496	60,126	73,642
純資産又は資本合計 (百万円)	23,473	37,461	46,510	56,562

- (注) 1 当社グループは、平成27年3月期よりIFRSを適用しています。IFRSへの移行日は、平成25年4月1日です。平成26年3月期についても、IFRSに準拠して作成、表示しています。
- 2 当社は、平成24年10月1日付で株式1株につき3株及び平成26年4月1日付で株式1株につき200株の株式分割を行っております。平成24年4月1日付で当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益又は基本的1株当たり当期利益を算定しています。
- 3 各期の期中平均株式数は下記のとおりです。

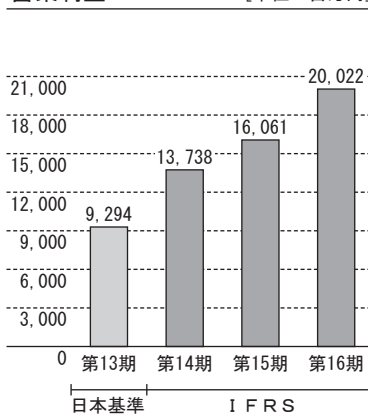
	第13期	第14期	第15期	第16期
期中平均株式数	317,508,200株	318,669,204株	323,328,834株	323,574,075株

期中平均株式数につきましては、(注)2記載の株式分割が平成24年4月1日付で行われたと仮定して算定しています。

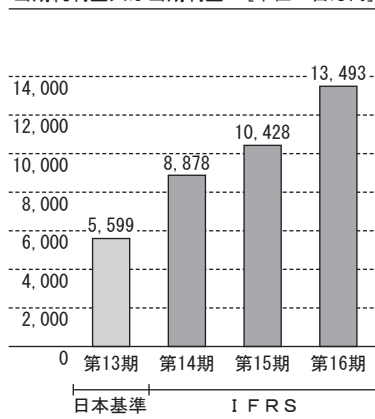
売上高又は売上収益 [単位：百万円]



営業利益 [単位：百万円]



当期純利益又は当期利益 [単位：百万円]





## ②当社の財産及び損益の状況

	第13期 平成25年3月期	第14期 平成26年3月期	第15期 平成27年3月期	第16期 (当事業年度) 平成28年3月期
売上高 (百万円)	13,617	16,254	17,727	19,060
経常利益 (百万円)	8,142	9,803	11,497	11,951
当期純利益 (百万円)	5,072	5,979	7,481	8,217
1株当たり当期純利益 (円)	15.97	18.76	23.14	25.40
総資産 (百万円)	29,082	44,067	51,395	61,676
純資産 (百万円)	21,630	32,924	38,406	44,607

(注) 当社は、平成24年10月1日付で株式1株につき3株及び平成26年4月1日付で株式1株につき200株の株式分割を行っております。平成24年4月1日付で当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しています。

## (6) 対処すべき課題

当社グループでは、対処すべき課題として以下の項目に取り組んでいます。

### ①継続的な成長の実現

現在、当社グループの国内における事業は、医療従事者専門サイト「m3.com」の運営と、このサイトを通じて繋がる約25万人の医師会員を含む、医療従事者会員へのアクセスを中核に展開しています。

「m3.com」は、「医師をはじめとする医療従事者が、『欲しい!』と思った情報に、最も迅速かつ確実にたどりつけるサイト」を目指し、専門医療情報に特化したニュース、サーチエンジン、ディレクトリ、文献検索、会員専用コミュニティサイト、独自コンテンツ等を会員に対して無料で提供しています。

この「m3.com」の会員を基盤として、当社グループでは、医療従事者を顧客とする製薬会社、医療機器会社等の医療関連会社に向けて、「MR君」をはじめとしたインターネットを活用したマーケティング活動を支援するサービス（「MR君」ファミリー）を開発、提供しています。平成28年1月には病院検索、薬検索、医療情報サイトなどを運営する株式会社QLifeを子会社化し、本格的にDTC市場に進出しました。

また、治験に参加する施設・対象患者を発見する治験支援サービス「治験君」を核に、大規模臨床研究支援サービスを提供するメビックス株式会社、治験業務の支援を行う株式会社MICメディカル及び株式会社メディサイエンスプランニング、治験実施医療機関において治験業務全般の管理・運営を支援するSMOである株式会社イスモ（e-SMO）及びノイエス株式会社、海外のバイオ医薬品企業を中心に、グローバル医薬品開発における日本及びアジアでの開発を支援する株式会社Integrated Development Associates、バイオテクノロジーを応用した先端医療技術を中心に、早期実用化に向けた研究開発活動全般を支援するPOCクリニックリサーチ株式会社を通じて、治験関連サービスを提供しています。

会員医療従事者を対象とした調査サービス、会員へ医療情報以外のライフサポート情報等を提供する「QOL君」をはじめとした一般企業向けサービス、一般の方々からの健康や疾病に関する質問に「m3.com」登録医師が回答する「AskDoctors」(<http://www.AskDoctors.jp/>)、診療所の経営をサポートする「m3.com 開業・経営」等、プラットフォームを活用した派生サービスの拡充も進めています。

医師、薬剤師向けの求人求職支援サービスを提供するエムスリーキャリア株式会社、クリニックの診療予約サービスを提供するアイチケット株式会社、医療用医薬品専門の広告代理店であるリノ・メディカル株式会社、電子カルテ等の開発・販売・サポートを手掛ける株式会社シィ・エム・エス、次世代MR「メディカルマーケター」の育成、提供を行うエムスリーマーケティング株式会社においてもサービス展開を進めています。

海外においては、米国で、医療従事者向けウェブサイト「MDLinx」を運営し、この会員基盤を活かした製薬会社向けサービスの展開が順調に進んでいる他、M&Aの活用等により医師向けの転職支援サービスも拡大しています。業務提携の効果もあり、米国において60万人以上の医師にリーチできる体制となっています。また、英国では約20万人の医師会員を擁する医師向けウェブサイト「Doctors.net.uk」において、製薬会社向けサービスの展開を進めており、英国版MR君を開始しました。さらに、中国において医療従事者向けウェブサイトに登録する医師会員数は150万人を超え、中国版MR君は順調に拡大しつつあります。

加えて、日本、米国、欧州、中国、韓国をはじめ、当社グループが世界中で運営する医療従事者向けウェブサイト及び医師パネルに登録する医師は合計300万人を超えており、医師パネルを活用したグローバルな調査サービスの提供も行っています。

今後も、引き続き、次の4項目での成長、展開に重点を置いた経営を進めていきます。

一 「m3.com」サイトの一層の価値向上

サイトの内容、機能の充実を進め、より多くの医療従事者会員からの、より多くのトラフィックを獲得することで、この「場」を活かして提供する他の様々なサービスの価値を底上げしていきます。

一 「MR君」ファミリーの更なる成長

既存顧客における利用量拡大と新規顧客の開拓に加え、顧客のニーズを掘り起こす新たなサービスの開発と展開に向けて、経営資源を投入していきます。

一 新規事業の立ち上げ

「双方向コミュニケーションで繋がった、医師をはじめとする医療従事者会員」の基盤から生み出される事業機会は数多く、優先順位を決めて順次事業化を進めていきます。

また、グループ各社の事業拡大とグループ内シナジー効果の最大化を図ります。

一 海外展開

日本と同様に、海外においても医療従事者向けウェブサイトを運営し、その会員基盤を活かした製薬会社向けマーケティング支援サービス、調査サービス、医師向け転職支援サービス等のサービスを展開しています。日本で開発したサービスの海外展開を進めることに加え、その国のニーズにあった独自サービスの開発も進めていきます。

なお、当社グループでは成長を具現化、促進する手段として、必要に応じて提携、買収、資本参加を進めていきます。

## ② リスクマネジメント

当社グループの事業運営に影響を持ち得る、事業環境、コンプライアンスなどの様々な側面でのリスク要因の、経営への影響を最小化すべく、予防的措置に取り組みます。

## (7) 当社グループの主要な事業セグメント（平成28年3月31日現在）

当社グループの事業は、医療従事者専門サイト「m3.com」の運営と、このサイトを通じて繋がる約25万人の医師会員を含む、医療従事者会員へのアクセスを中核に展開しています。

### ①医療ポータル

分野	主要サービス	主要サービスの内容
医療関連会社マーケティング支援	「MR君」ファミリー	製薬会社のMR(医薬情報担当者)等による医師への情報提供をサポートする、インターネットを活用した双方向のコミュニケーションプラットフォームの提供。
	m3.com提携企業サービス	医療関連会社向けに「m3.com」上に設けた情報掲載スペース、専用検索エンジンに連動したバナー表示などのサービスを提供。さらにオプションとして「m3MT」のサービス名称で「m3.com」会員向けのメール広告等の様々なマーケティングツールを提供。
調査	受注型調査サービス	医療従事者を対象とした、個別受注型調査の実施。
	定型調査サービス	当社で企画、実施し、複数のクライアントに販売する調査サービス。
その他	一般企業向けマーケティング支援サービス	会員へ医療情報以外のライフサポート情報を提供する「QOL君」等の一般企業向けサービスの提供。
	m3.com開業・経営サービス	開業準備医師向けの情報や開業後の診療所の経営支援情報を「m3.com」上で提供し、診療所の経営をサポート。
	コンシューマー向けサービス	一般の方々からの健康や疾病に関する様々な質問に対して「m3.com」登録医師が回答する、ネット上の掲示板方式Q&Aサイト「AskDoctors」等の運営。
	「治験君」サービス	「m3.com」上で治験に参加する施設・対象患者を発見する治験支援サービス。
	医療従事者等向け人材サービス	医師、薬剤師向けの求人求職支援サービス。人材紹介、「m3.com CAREER」等への求人広告掲載等。
	有料コンテンツ販売	医薬品便覧や医学辞典等電子コンテンツの会員医師への販売。

### ②エビデンスソリューション

主要サービス	主要サービスの内容
CRO事業	臨床開発業務の支援及び大規模臨床研究の支援。
SMO事業	治験実施医療機関における治験業務全般の管理・運営の支援。

### ③海外

主要サービス	主要サービスの内容
マーケティング支援	海外におけるインターネットを利用した製薬会社等の営業、マーケティング支援事業等の提供。
調査	海外における医療従事者を対象とした調査サービス。
医療従事者向け人材サービス	海外における医師向け転職支援サービス及び病院向け医師プロフィールデータベースライセンスの提供。

#### ④診療プラットフォーム

主要サービス	主要サービスの内容
電子カルテ事業	電子カルテ等の開発・販売・サポート。

#### ⑤営業プラットフォーム

主要サービス	主要サービスの内容
CSO事業	医薬品・医療機器等の営業活動及びマーケティング業務等の受託。

#### (8) 当社グループの主要拠点等（平成28年3月31日現在）

当社本社	東京都港区	
国内子会社	メビックス株式会社	(東京都港区)
	株式会社シィ・エム・エス	(東京都港区)
	株式会社MICメディカル	(東京都港区)
	エムスリーキャリア株式会社	(東京都港区)
	株式会社メディサイエンスプランニング	(東京都港区)
	エムスリーマーケティング株式会社	(東京都港区)
	ノイエス株式会社	(東京都港区)
海外子会社	M3 USA Corporation	(米国)
	M3 (EU) Limited	(英国)
	PracticeMatch Corporation	(米国)
	The Medicus Firm, Inc.	(米国)
	金葉天成（北京）科技有限公司	(中国)

#### (9) 当社グループの使用人の状況（平成28年3月31日現在）

##### ①当社グループの使用人の状況

使用人数	前連結会計年度末比増減
3,556名	+877名

- (注) 1 使用人数には、当社グループ外から当社グループへの出向者を含みます。  
 2 上記使用人のほか、連結会計年度末日現在において538名の臨時従業員がおります。  
 3 使用人数が当連結会計年度において877名増加しておりますが、The Medicus Firm, Inc.、Profiles, Inc.、ノイエス株式会社、POCクリニックリサーチ株式会社、株式会社ヌーベルプラス、株式会社QLifeを新たに連結子会社としたことにより569名増加したこと及び、業容拡大等により、医療プラットフォームセグメントで103名、エビデンスソリューションセグメントで81名、海外セグメントで89名それぞれ増加したことが主な要因です。

##### ②当社の使用人の状況

使用人数	前事業年度末比増減	平均年齢	平均勤続月数
308名	+34名	34.8歳	38.1ヶ月

- (注) 1 使用人数には、社外から当社への出向者を含みます。  
 2 上記使用人のほか、事業年度末日現在において78名の臨時従業員がおります。

## (10) 重要な子会社の状況（平成28年3月31日現在）

会社名	資本金	議決権比率 (注1)	主要な事業内容
M3 USA Corporation	500 千米ドル	100.0%	(海外) 米国におけるインターネットを利用した製薬 会社等の営業・マーケティング支援事業
M3 (EU) Limited	7,616 千英ポンド	100.0% (100.0%)	(海外) 欧州におけるインターネットを利用した製薬 会社等の営業・マーケティング支援事業
PracticeMatch Corporation	1,000 千米ドル	100.0% (100.0%)	(海外) 病院向け医師プロフィールデータベースライ センス事業
MDJob Find, Inc.	100 米ドル	100.0% (100.0%)	(海外) 米国における医師転職支援事業
Profiles, Inc. (注3)	1,000 千米ドル	100.0% (100.0%)	(海外) 病院向け医師プロフィールデータベースライ センス事業
The Medicus Firm, Inc. (注5)	0.10 米ドル	100.0% (100.0%)	(海外) 米国における医師転職支援事業
メビックス株式会社	50百万円	100.0%	(エビデンスソリューション) 大規模臨床研究支援事業
株式会社イソモ	30百万円	100.0%	(エビデンスソリューション) 治験実施医療機関における治験業務全般の管 理・運営支援事業
株式会社MICメディカル	50百万円	100.0%	(エビデンスソリューション) 臨床開発事業を支援するCRO (医薬品開発業務 受託機関) 事業
株式会社メディサイエンスプ ラニング	50百万円	100.0%	(エビデンスソリューション) 臨床開発事業を支援するCRO (医薬品開発業務 受託機関) 事業
株式会社Integrated Development Associates	14百万円	100.0%	(エビデンスソリューション) アジアにおける医薬品開発支援・コンサルテ ィング事業
ノイエス株式会社 (注4)	70百万円	100.0%	(エビデンスソリューション) 治験実施医療機関における治験業務全般の管 理・運営支援事業
POCクリニカルリサーチ株式 会社 (注4)	39百万円	100.0%	(エビデンスソリューション) 医薬品研究開発支援事業
エムスリーマーケティング株 式会社	50百万円	100.0%	(営業プラットフォーム) CSO (医薬品販売業務受託機関) 事業
株式会社シィ・エム・エス	20百万円	100.0%	(診療プラットフォーム) 電子カルテ等の開発・販売・サポート事業
株式会社ヌーベルプラス (注4)	50百万円	100.0%	(医療ポータル) 医療用医薬品専門の広告代理店事業

会社名	資本金	議決権比率 (注1)	主要な事業内容
株式会社QLife (注4)	150百万円	100.0%	(医療ポータル) コンシューマ向けヘルスケアサイト運営事業
リノ・メディカル株式会社	10百万円	100.0%	(その他) 医療用医薬品専門の広告代理店事業
G-TAC株式会社 (注3)	10百万円	100.0%	(その他) ゲノムパーソナル医療に関するコンシューマ 向け事業
エムスリードクターサポート 株式会社	50百万円	93.0%	(その他) 医療機関の運営サポート事業
アイチケット株式会社	30百万円	78.5%	(その他) 情報通信ネットワークを利用した医療機関向 け各種情報提供サービス事業
エムスリーキャリア株式会社	50百万円	51.0%	(医療ポータル) 医療従事者及び関連人材を対象とした人材サ ービス事業
エムキューブ株式会社	25百万円	51.0%	(その他) 医療分野におけるビジュアルコミュニケーション プラットフォームの提供
株式会社エムプラス (注6)	30百万円	50.0%	(その他) 学会・研究会の会員制コミュニティサイトの 運営事業
金葉天成(北京) 科技有限公司 (注6)	9,000 千元	50.0% (50.0%)	(海外) 中国におけるインターネットを利用した製薬 会社等の営業・マーケティング支援事業
北京医脈互通科技有限公司 (注6)	2,000 千元	0.0% (0.0%)	(海外) 中国におけるインターネットを利用した製薬 会社等の営業・マーケティング支援事業
Medi C&C Co., Ltd. (注6)	1,833,335 千ウォン	40.0% (20.0%)	(海外) 韓国におけるインターネットを利用した製薬 会社等の営業・マーケティング支援事業

- (注) 1 議決権比率の( )内は、間接所有割合です。  
2 当事業年度末日における特定完全子会社はありません。  
3 Profiles, Inc. 及びG-TAC株式会社は、当連結会計年度において新たに設立したことから連結子会社となりました。  
4 ノイエス株式会社、POCクリニカルリサーチ株式会社、株式会社ヌーベルプラス及び株式会社QLifeは、当連結会計年度に株式を取得したことから連結子会社となりました。  
5 The Medicus Firm, Inc. は、当連結会計年度において新たに設立し、The Medicus Firm, LLCの株式の取得後、当該会社を吸収合併しています。  
6 議決権の所有割合は100分の50以下ですが、実質的に支配しているため子会社としたものです。  
7 前連結会計年度において連結子会社であったMedQuarter Online GmbHは、当連結会計年度において会社清算したことに伴い当事業年度において連結子会社ではなくなりました。

## (11) 主要な借入先及び借入額

当連結会計年度においては、特に記載すべき事項はありません。

## (12) 剰余金の配当等を取締役会が決定する旨の定款の定めがあるときの権限の行使に関する方針

当社では、経営基盤を強化し新たな事業展開に備えるために、利益を内部留保し再投資することを基本方針とした上で、資金需要動向とキャッシュ・フローの状況を勘案し、株主配当の水準を決定しております。

今期においては、利益還元としての株主配当を実施できる状況にあると判断いたしましたので、平成28年3月期の1株当たり期末配当金を9円といたしました。

次期においても上述の方針に基づき、資金需要動向とキャッシュ・フローの状況とを勘案し、株主配当の水準を決定する予定です。

## 2. 株式に関する事項（平成28年3月31日現在）

- |                |                              |
|----------------|------------------------------|
| (1) 発行可能株式総数   | 1,152,000,000株               |
| (2) 発行済株式の総数   | 323,613,600株（自己株式32,400株を除く） |
| (3) 株主数        | 18,674名                      |
| (4) 大株主（上位10名） |                              |

株主名	持株数 株	持株比率 %
ソニー株式会社	127,381,600	39.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	24,982,900	7.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	12,340,900	3.8
JP MORGAN CHASE BANK 385164	10,534,700	3.3
谷村 格	9,677,800	3.0
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	5,739,750	1.8
資産管理サービス信託銀行株式会社	4,788,700	1.5
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C AMERICAN CLIENTS	4,518,895	1.4
MELLON BANK, N. A. AS AGENT FOR ITS CLIENT MELLON OMNIBUS US PENSION	4,135,757	1.3
J. P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S. A. 380578	3,800,100	1.2

- (注) 1 持株比率は自己株式を控除して計算しています。  
2 上記の持株数のうち、信託業務にかかる株式数は次のとおりです。
- |                      |             |
|----------------------|-------------|
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 | 24,165,500株 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社   | 11,832,600株 |
| 資産管理サービス信託銀行株式会社     | 4,427,700株  |

### 3. 会社役員に関する事項

#### (1) 取締役及び監査役の状況（平成28年3月31日現在）

地 位	氏 名	担当及び重要な兼職の状況
代表取締役社長	谷 村 格	M3 USA Corporation 取締役 エムスリーキャリア株式会社 取締役 リノ・メディカル株式会社 取締役 M3 (EU) Limited 取締役 株式会社MICメディカル 取締役 株式会社シィ・エム・エス 取締役 株式会社メディサイエンスプランニング 取締役 P5株式会社 取締役 メビックス株式会社 取締役 エムスリーアイ株式会社 取締役 Medi C&C Co., Ltd. 取締役 Kingyee Co., Limited 取締役
取締役	永 田 朋 之	株式会社エムプラス 取締役
取締役	横 井 智	株式会社エムプラス 取締役 エムキューブ株式会社 取締役 株式会社ヌーベルプラス 取締役 株式会社QLife 取締役 Kingyee Co., Limited 取締役
取締役	吉 田 裕 彦	メビックス株式会社 代表取締役 株式会社イスモ 取締役 株式会社MICメディカル 取締役 クリニカルポーター株式会社 代表取締役 株式会社Integrated Development Associates 取締役 株式会社ヌーベルプラス 取締役 POCクリニカルリサーチ株式会社 取締役
取締役	辻 高 宏	株式会社イスモ 取締役
取締役	都 丸 暁 彦	M3 USA Corporation 取締役 M3 (EU) Limited 取締役 PracticeMatch Corporation 取締役 MDJob Find, Inc. 取締役 Profiles, Inc. 取締役 The Medicus Firm, Inc. 取締役
取締役	浦 江 明 憲	株式会社メディサイエンスプランニング 代表取締役 株式会社サンケア 取締役 株式会社臨床医薬研究協会 取締役 医療法人相生会 理事
社外取締役	吉 田 憲 一 郎	ソニー株式会社 代表執行役 株式会社アクトビラ 取締役 株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント 取締役 株式会社ソニーミュージックエンタテインメント 取締役 ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社 取締役 Sony Corporation of America 取締役 Sony Music Entertainment 取締役 Sony Pictures Entertainment, Inc. 取締役
常勤監査役 (社外監査役)	堀 野 信 人	—



地位	氏名	担当及び重要な兼職の状況
社外監査役	遠山亮子	中央大学大学院 教授 北陸先端科学技術大学院大学 客員教授
監査役	吉村正直	ソネット株式会社 監査役 ソネット・メディア・ネットワークス株式会社 監査役 株式会社テレコムフォース 監査役 モーションポートレート株式会社 監査役 ソネットビジネスアソシエーツ株式会社 監査役

- (注) 1 取締役 吉田憲一郎氏は、社外取締役です。  
2 監査役 堀野信人氏、遠山亮子氏は、社外監査役です。  
3 監査役 遠山亮子氏は、大学等における経営分野に関する研究及び教授等を通じて、財務及び会計に関する相当程度の知見を有しております。  
4 当社は、社外監査役の遠山亮子氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

#### (2) 責任限定契約の内容の概要

当社と社外取締役及び各社外監査役は、会社法第427条第1項の規定に基づき、会社法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、法令が定める額としています。なお、当該責任限定が認められるのは、当該社外取締役及び社外監査役が責任の原因となった職務の遂行について善意でかつ重大な過失がないときに限られます。

#### (3) 取締役及び監査役の報酬等

##### 当事業年度に係る報酬等の総額

区分	報酬等の総額		うち社外役員分	
	人数	金額	人数	金額
取締役	7名	220百万円	—	—
監査役	2名	16百万円	2名	16百万円
計	9名	235百万円	2名	16百万円

- (注) 1 平成22年6月21日開催の第10回定時株主総会の決議による取締役の報酬限度額(新株予約権の発行による報酬を除く。)は、年額500百万円です。また、平成16年6月9日開催の第4回定時株主総会の決議による監査役の報酬限度額は、年額50百万円です。  
2 上記報酬等の額には、新株予約権の発行による報酬42百万円(取締役7名に対して42百万円)を含めております。  
3 期末日現在の人員は、取締役8名、監査役3名ですが、取締役1名及び監査役1名には報酬は支払っておりません。

#### (4) 社外役員に関する事項

##### ①社外役員の重要な兼職の状況等

取締役 吉田憲一郎氏は、ソニー株式会社の代表執行役、株式会社アクトビラ、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント、株式会社ソニーミュージックエンタテインメント、ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社、Sony Corporation of America、Sony Music Entertainment、Sony Pictures Entertainment, Inc.の取締役です。ソニー株式会社は当社の発行済株式の総数(自己株式を除く。)の39.4%を有する株主です。当社と当該取締役が兼務する会社との間に重要な取引等はありません。

監査役 遠山亮子氏は、中央大学大学院の教授及び北陸先端科学技術大学院大学の客員教授です。当社と中央大学及び北陸先端科学技術大学院大学との間に重要な取引等はありません。

## ②社外役員の主な活動状況

区分	氏名	主な活動状況
社外取締役	吉田 憲一郎	当事業年度開催の取締役会の全てに出席しました。適宜取締役会の意思決定の適正性を確保するための質問、助言を行っております。
社外監査役	堀野 信人	当事業年度開催の取締役会及び監査役会の全てに出席しました。適宜取締役会の意思決定の適正性を確保するための質問、助言を行っております。
社外監査役	遠山 亮子	当事業年度開催の取締役会12回のうち10回及び監査役会13回のうち12回に出席しました。適宜取締役会の意思決定の適正性を確保するための質問、助言を行っております。

## 4. 会計監査人の状況

### (1) 会計監査人の名称

PwCあらた監査法人

(注)あらた監査法人は、平成27年7月1日付をもって名称を変更し、PwCあらた監査法人となりました。

### (2) 会計監査人に対する報酬等の額

①当事業年度に係る会計監査人としての報酬等の額	44百万円
②当社及び当社子会社が支払うべき金銭その他財産上の利益の合計額	44百万円

- (注) 1 当社と会計監査人との間の監査契約において会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を区分しておらず、実質的にも区分できないため、上記①の金額にはこれらの合計額を記載しています。
- 2 監査役会は、会計監査人の監査計画の内容、会計監査の職務遂行状況及び報酬見積りの算出根拠等が適切であるかどうかについて必要な検証を行ったうえで、会計監査人の報酬等の額について同意の判断をいたしました。
- 3 当社の子会社であるM3 (EU) Limitedは、当社の会計監査人以外の監査法人の監査を受けています。

### (3) 非監査業務の内容

該当事項はありません。

### (4) 会計監査人の解任または不再任の決定の方針

会計監査人が会社法第340条第1項各号のいずれかに該当すると認められる場合、監査役会は、監査役会員の同意により解任いたします。

また、上記の場合のほか、会計監査人の適格性、独立性を害する事由の発生により、適正な監査の遂行が困難であると認められる場合、監査役会は、会計監査人の解任または不再任を株主総会に提案する議案を決定いたします。

(注) 本事業報告中の記載金額は、表示単位未満を四捨五入により表示しています。

## 【 連結計算書類 】

連結財政状態計算書（平成28年3月31日現在）

（単位：百万円）

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>資 産</b>		<b>負 債</b>	
<b>流 動 資 産</b>	<b>38,868</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>14,993</b>
現金及び現金同等物	21,975	営業債務及びその他の債務	4,672
営業債権及びその他の債権	14,163	未払法人所得税	4,033
その他の短期金融資産	597	ポイント引当金	1,171
その他の流動資産	2,134	その他の短期金融負債	969
<b>非 流 動 資 産</b>	<b>34,773</b>	その他の流動負債	4,148
有形固定資産	1,028	<b>非 流 動 負 債</b>	<b>2,087</b>
のれん	21,894	その他の長期金融負債	50
無形資産	2,389	繰延税金負債	394
持分法で会計処理されている投資	1,044	その他の非流動負債	1,643
売却可能金融資産	5,676	<b>負 債 合 計</b>	<b>17,079</b>
その他の長期金融資産	1,432	<b>資 本</b>	
繰延税金資産	864	親会社の所有者に帰属する持分	54,889
その他の非流動資産	446	資 本 金	1,531
<b>資 産 合 計</b>	<b>73,642</b>	資 本 剰 余 金	8,230
		自 己 株 式	△51
		その他の資本の構成要素	2,617
		利 益 剰 余 金	42,563
		<b>非 支 配 持 分</b>	<b>1,673</b>
		<b>資 本 合 計</b>	<b>56,562</b>
		<b>負 債 及 び 資 本 合 計</b>	<b>73,642</b>

（注）記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

連結損益計算書（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）

（単位：百万円）

科 目	金 額
売上収益	64,660
売上原価	△26,970
売上総利益	37,690
販売費及び一般管理費	△18,382
持分法による投資利益	71
企業結合に伴う再測定による利益	3
その他の収益	753
その他の費用	△114
営業利益	20,022
金融収益	79
金融費用	△150
税引前当期利益	19,950
法人所得税費用	△6,458
当期利益	13,493
以下に帰属する当期利益	
親会社の所有者に帰属	12,508
非支配持分に帰属	984
合計	13,493

（注）記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

連結持分変動計算書（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の 資本の構 成要素	利益 剰余金	合計		
平成27年4月1日現在	1,498	8,197	△51	2,930	32,650	45,223	1,287	46,510
当期利益					12,508	12,508	984	13,493
その他の包括利益				△374		△374	△52	△426
当期包括利益合計	—	—	—	△374	12,508	12,134	933	13,067
所有者との取引額								
剰余金の配当					△2,588	△2,588	△563	△3,150
株式報酬取引による増加 (減少)	33	33		54		120		120
企業結合による増加						—	16	16
その他資本の構成要素か ら利益剰余金への振替				7	△7	—		—
所有者との取引額合計	33	33	—	61	△2,595	△2,468	△546	△3,014
平成28年3月31日現在	1,531	8,230	△51	2,617	42,563	54,889	1,673	56,562

（注）記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

## 【 計算書類 】

### 貸借対照表（平成28年3月31日現在）

（単位：百万円）

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>〔資産の部〕</b>		<b>〔負債の部〕</b>	
<b>流 動 資 産</b>	<b>27,908</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>16,562</b>
現金及び預金	18,190	買掛金	176
受取手形及び売掛金	4,797	関係会社預り金	11,891
仕掛品	15	未払金	12
貯蔵品	196	未払費用	331
前払費用	120	未払法人税等	2,102
繰延税金資産	602	未払消費税等	292
関係会社短期貸付金	3,858	前受金	312
その他	131	賞与引当金	140
貸倒引当金	△2	ポイント引当金	1,093
		その他引当金	175
<b>固 定 資 産</b>	<b>33,769</b>	その他	39
<b>有形固定資産</b>	<b>475</b>	<b>固 定 負 債</b>	<b>508</b>
建物	346	繰延税金負債	272
器具・備品	129	資産除去債務	236
<b>無形固定資産</b>	<b>269</b>	<b>負 債 合 計</b>	<b>17,070</b>
ソフトウェア	244	<b>〔純資産の部〕</b>	
ソフトウェア仮勘定のれん	5	<b>株 主 資 本</b>	<b>42,739</b>
その他	19	資本金	1,531
	1	資本剰余金	8,451
<b>投資その他の資産</b>	<b>33,025</b>	資本準備金	8,451
投資有価証券	5,371	利益剰余金	32,808
関係会社株式	26,797	その他利益剰余金	32,808
長期前払費用	17	繰越利益剰余金	32,808
敷金及び保証金	840	<b>自 己 株 式</b>	<b>△51</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>61,676</b>	<b>評価・換算差額等</b>	<b>1,649</b>
		その他有価証券評価差額金	1,649
		<b>新 株 予 約 権</b>	<b>219</b>
		<b>純 資 産 合 計</b>	<b>44,607</b>
		<b>負債純資産合計</b>	<b>61,676</b>

（注）記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

損益計算書（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）

（単位：百万円）

科 目	金 額	
売上高		19,060
売上原価		2,904
<b>売上総利益</b>		<b>16,156</b>
販売費及び一般管理費		5,140
<b>営業利益</b>		<b>11,017</b>
営業外収益		
受取配当金	612	
投資有価証券売却益	157	
その他	292	1,061
営業外費用		
為替差損	117	
その他	10	127
<b>経常利益</b>		<b>11,951</b>
特別損失		
関係会社清算損失	1	1
<b>税引前当期純利益</b>		<b>11,950</b>
法人税、住民税及び事業税	3,520	
法人税等調整額	212	3,732
<b>当期純利益</b>		<b>8,217</b>

（注）記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

株主資本等変動計算書（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
			その他 利益剰余金		
		資本準備金	繰越利益剰余金		
平成27年4月1日残高	1,498	8,418	27,179	△51	37,043
事業年度中の変動額					
新株の発行	33	33			66
剰余金の配当			△2,588		△2,588
当期純利益			8,217		8,217
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）					—
事業年度中の変動額合計	33	33	5,630	—	5,696
平成28年3月31日残高	1,531	8,451	32,808	△51	42,739

	評価・換算差額等	新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金		
平成27年4月1日残高	1,199	165	38,406
事業年度中の変動額			
新株の発行			66
剰余金の配当			△2,588
当期純利益			8,217
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）	451	54	505
事業年度中の変動額合計	451	54	6,201
平成28年3月31日残高	1,649	219	44,607

（注）記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。



独立監査人の監査報告書

平成28年5月16日

エムスリー株式会社  
取締役会 御中

P w C あらた監査法人

指定社員 公認会計士 澤 山 宏 行 ⑥  
業務執行社員

指定社員 公認会計士 岩 尾 健 太 郎 ⑥  
業務執行社員

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、エムスリー株式会社の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結財政状態計算書、連結損益計算書、連結持分変動計算書、連結注記表について監査を行った。

連結計算書類に対する経営者の責任

経営者の責任は、連結計算書類を指定国際会計基準で求められる開示項目の一部を省略して作成することを認めている会社計算規則第120条第1項後段の規定により作成し、適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結計算書類に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、連結計算書類の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による連結計算書類の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、連結計算書類の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結計算書類の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、会社計算規則第120条第1項後段の規定により指定国際会計基準で求められる開示項目の一部を省略して作成された上記の連結計算書類が、エムスリー株式会社及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

# 計算書類に係る会計監査報告

## 独立監査人の監査報告書

平成28年5月16日

エムスリー株式会社  
取締役会 御中

### P w C あらた監査法人

指定社員 公認会計士 澤 山 宏 行 ㊞  
業務執行社員  
指定社員 公認会計士 岩 尾 健 太 郎 ㊞  
業務執行社員

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、エムスリー株式会社の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの第16期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。

#### 計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

# 監査役会の監査報告

## 監 査 報 告 書

当監査役会は、平成27年4月1日から平成28年3月31日までの第16期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

監査役会は、監査の方針、監査計画等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、当期の監査方針、監査計画等に従い、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所における業務及び財産の状況を調査いたしました。また、事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結財政状態計算書、連結損益計算書、連結持分変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

### 2. 監査の結果

#### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- 三 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

#### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人 P w C あらた監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

#### (3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人 P w C あらた監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

平成28年5月21日

エムスリー株式会社 監査役会

常勤監査役（社外監査役） 堀 野 信 人 ㊞  
社 外 監 査 役 遠 山 亮 子 ㊞  
監 査 役 吉 村 正 直 ㊞

(注) 監査役堀野信人及び監査役遠山亮子は、会社法第2条第16号及び第335条第3項に定める社外監査役であります。

以 上

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	毎年3月31日
配当金支払株主 確定日	毎年3月31日 毎年9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://corporate.m3.com/">http://corporate.m3.com/</a> (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

エムスリー株式会社

<http://corporate.m3.com/>